

# あすにいきる

あすにいきる



兵庫県教育委員会

## あすにいきる (改訂版)

平成 9年1月17日 発行

平成24年1月17日 改訂

編集・発行 兵庫県教育委員会

〈お礼〉本教材の作成に当たっては、報道各社、関係自治体、関係者の皆様にご多大なご協力をいただきました。中でも、神戸新聞社には、数多くの報道写真、記事の提供、監修等幅広くご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。





# いろいろな き 気もち

かなしいことが  
いっぱい あった  
うれしいことが  
いっぱい あった

じ  
地しんが あって  
はじめて 知った  
いろいろな き  
気もち

せっかく たすかった  
わたしの いのち  
わたしは ちゃんと  
生きて いきたい





# あすにいきる

## もくじ

- 4 かぞくて はなしあおう

---

- 6 災害について知る じしんが おきても あわてない

---

- 10 自分の身は自分で守る じしんの ときの こうどう

---

- 14 公の助けを得る いのちを まもるものを さがしに いこう

---

- 20 災害について知る あっというまにすごいながれ

---

- 24 災害について知る 大地しんがきた

---

- 28 自分の身は自分で守る 「泳ぐ」より「うく」

---

- 32 共に生きる 助け合って生活するために

---

- 36 生き方を考える みんなを見守るプラボン

---

- 40 公の助けを得る 町のぼうさいしせつをさがそう

---

- 48 こころをケアする 悲しい気持ち、こわい気持ち

---

- 52 1.17はわすれない



はんしん あわじ だいしんさい  
阪神・淡路大震災を  
語り継ぐ



- 16 地いきの人にありがとう

---

- 44 宋栗市一宮町につたわる抜山伝説

- 1 いろんな 気持ち

---

- 8 しんそうが とまりそうだった

---

- 9 ぼくの 町が なくなって しまった

---

- 12 とても こわかったよ

---

- 18 わたしの シロ

---

- 22 おばあちゃん これ

---

- 26 ありがとう

---

- 27 ひとつに なった

---

- 30 元気で よかったね

---

- 34 いつまでも わすれない

---

- 38 ぼくの 車いす

---

- 42 おふろに はいったよ

---

- 43 水くみ したよ

---

- 46 ガスの 工事に 来た お兄ちゃん

---

- 47 水が 出た

---

- 56 春が きた



表紙 (題字)  
豊浦未奈都 県立北須磨高等学校 2年

表紙のポスターは「防災力強化県民運動」ポスターコンクールの受賞作品から選出しました。

<作者一覧> (受賞当時の学年)

南 心	神戸市立御影北小学校	1年	荒木 恵祐	神戸市立住吉小学校	1年
小関 純果	神戸市立原田中学校	2年	畑 知沙	加古川市立陵南中学校	3年
佐藤 孝祐	養父市立養父中学校	3年	栗田ひろみ	県立姫路工業高等学校	2年
花木 紗英	県立姫路工業高等学校	2年	日下部まこ	県立東播磨高等学校	3年

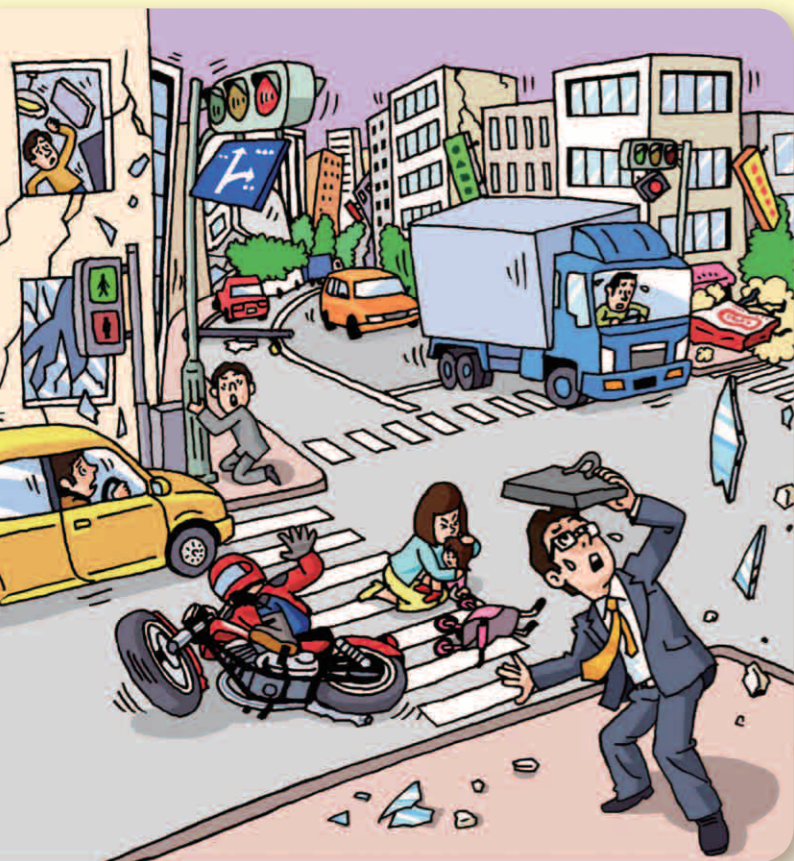






# じしんが おきても あわてない

じしんは、あさ、ひる、よるの いつ おこるか わかりません。  
じしんを しり、じしんが おきても あわてない ことが たいせつ  
です。



あさの  
6時

ひるの  
12時

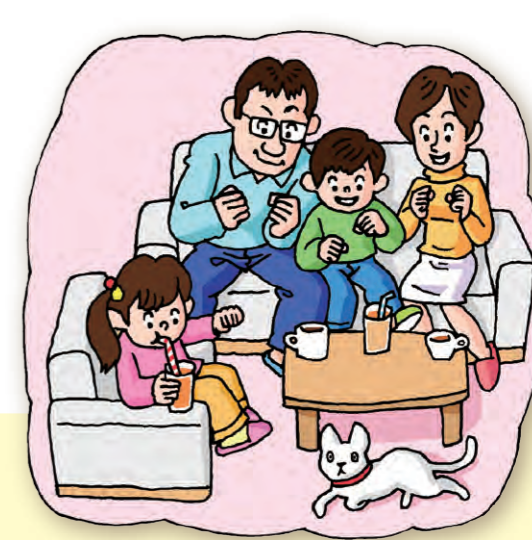
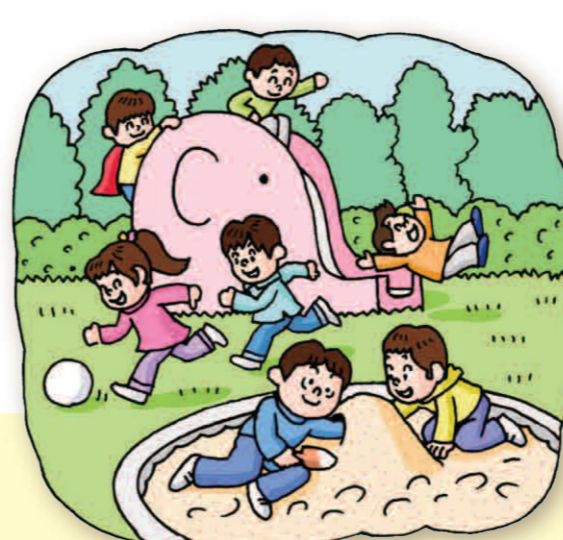
ゆうがたの  
6時

よる

あさ

ひる

よる







# しんぞうが とまりそうだった

ドーン ガタガタ  
トラックが つっこんだと <sup>おも</sup>思った  
ブランコに のって  
ふりまわされている <sup>みたい</sup>だった

<sup>いえ</sup>家の <sup>なか</sup>中は ぐちゃぐちゃに なった  
タンスも テレビも ぜんぶ たおれた  
しょっきは ガシャッと こわれて しまった

<sup>そと</sup>外へ <sup>て</sup>出たら  
<sup>いえ</sup>家は かたむいて たおれそうだった  
もう すめないのかと <sup>おも</sup>思って  
しんぞうが ぶるぶる ふるえた

そこいらじゅうが めちゃくちゃだった



ぼくの 町が  
なくなつて しまった

いつもの 電車から 見える  
赤い やねの 家  
マンション

地しんの 後  
つぶれていた

何だか  
ぼくの ものが  
なくなつて しまったような  
気もちに なった



# じしんの ときの こうどう

じしんの ときは、おちついて こうどうしましょう。  
学校でも いえでも まちでも、きほんは おなじです。

## ゆれが きたら あたまを まもる



## ゆれている あいだは むりに うごかない



## ひなんする ときの やくそく



かいだんでは



おさない はしらない

しじが きこえる  
ように



しやべらない

にもつを とりに



もどらない

## あぶない ところから はやく はなれる







## とても こわかったよ

なにがなんだか、わからなかったけど、すごく  
からだ  
体が ゆれたので 目が さめた。

気が ついたら、タンスや てん  
天じょうが、わたしの  
うえ  
上に。なんとか いきは できたけど、手と あし  
足が  
すこ  
少し うごかせるだけだった。まっくらで とても  
こわかった。

「やすこ。」

「やすこ。」

とう  
お父さんと かあ  
お母さんの さけぶ こえ  
声が した。

とう  
「お父さん、たすけて。」

と さけびたいけど、くるしくて こえ  
だ  
声が出せない。やっと、

とう  
「お父さん……。」

と 言えた。

とう  
お父さんと かあ  
お母さんの さけぶ こえ  
声が つづいていた。

ガタガタ、ゴトゴト、ものを うごかす おと  
音が する。

とう  
お父さんと かあ  
お母さんが、わたしを たすけてくれているのだ。

「やすこちゃん、がんばれよ。」

クリーニングやの おじちゃんの こえ  
声が した。



(写真提供 神戸新聞社)

「やすこちゃん、がんばれ。」

きんじょの ひと  
人たちの こえ  
声も たくさん き  
聞こえてきた。

どれくらい たったか わからないけど、ふっと、からだ  
体が  
かるくなった。目の前が め まえ  
あか  
明るくなった。

「たすかったんだ。」

とう  
お父さんと かあ  
お母さんが、なきながら だきしめてくれた。

き  
気が つくと、きんじょの おじさんたちは、  
いなくなっていた。



# いのちを まもるものを さがしに いこう

どこに <sup>なに</sup>何が あるか、よく 知っておこう。



ゆうどうとう



地しんなどの さいがいの ときは、 学校が ひなんじょに なるんだよ。

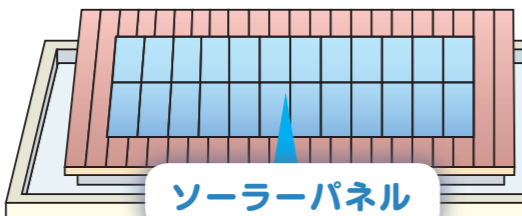


どうして 校しやの 上に プールが あるんだろう？

プール



ソーラーパネル



しょう火き



たいしんほきょう



ひじょうかいだん



ガスもれたん知き



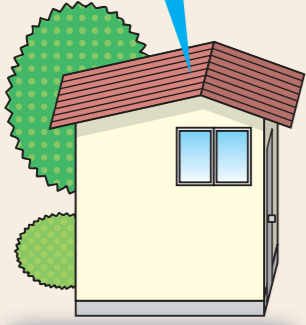
しょう火せん



火さいほう知き



びちくそうこ



ぼう火とびら



きんきゅうほうそうせつび



エーイーディー AED







# 地いきの 人にありがとう

## 岩手県大船渡市の海の近くにある 小学校でのお話です。



↑ 越喜来小学校の子どもたち

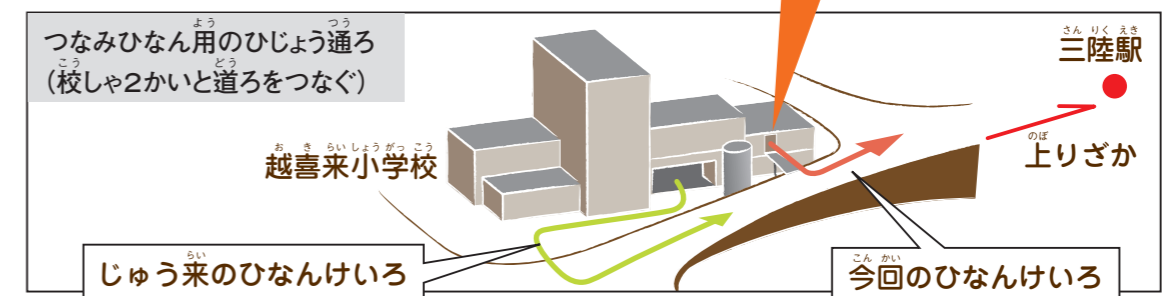
ぼくたちの越喜来小学校は、2011（平成23）年3月11日の大  
つなみで大きなひがいをうけました。ぼくたちは、ぜん国のみなさ  
んから数え切れないほどのぶっしやおうえんの手紙をいただきました。  
今までぼくたちが知らなかった人からのあたたかい心づかいに  
どんなにはげまされたり、元気をいただいたりしたことか、ことば  
では言いあらわすことはできません。ほんとうにありがとうございました。

もう一つ「ありがとう」があります。それは、つなみからぼくた  
ちのいのちをまもってくれた、ひなんのときにつかうひじょう通り  
です。このひじょう通りは、市ぎ会ぎいんをしていた平田さんがて  
いあんしゃになり、地いきの人たちのねがいでかんせいしました。  
地いきの人たちは、つなみのひがいをけいけんしていたので、「つ

なみが来たときに子どもが1かいに下り、外に出ていたら間に合わ  
ない。2かいから直せつ道に出たほうが早いので、ひじょう通りを  
つけたほうがいい」と、長い間、市におねがいをしてくれました。  
そのおかげで、校しゃの2かいと道を直せつつなくひじょう通り  
が、かんせいしました。ぼくたちは、できあがったひじょう通りを  
つかってひなんくんれんをしました。すると、ひじょう通りのおか  
げでひなんする時間は、6分から3分にみじかくなりました。

そのわずか3か月後に東日本大しんさいがおこりました。つなみ  
は学校の3かいをのみこむぐらい、とても大きなものでした。で  
も、ぼくたちはひなんくんれんのとおりに、ひじょう通りをつかっ  
て71人ぜんいんがぶじにひなんすることができました。

ぼくたちのぶじを地いきの人たちがよろこんでくださいました。  
地いきの人たちのねがいが、ぼくた  
ちのいのちをまもってくれました。  
ぜんいんがかんしゃの気持ちでいっ  
ぱいです。







## わたしの シロ

シロが いません。

あか 赤ちゃんの ときから、ずっと いっしょに くらしていた

シロが いません。

わたしが よぶと、すぐに こたえる シロが いません。

けさの じ 地しんで、こわれた いえ 家から やつどの ことで

はい出た わたし。

「シロー。シロー。」

なまえ 名前を よんでも、

へんじを してくれません。

じぶん 自分で そと 外へ 出たのかな。

どこかへ にげたのかな。

ひなんじょに むかう あいだ 間も、

とう お父さんや かあ お母さんと いっしょに、

「シロー。シロー。」

と よんで みましたが、シロは こたえません。

よる 夜に なっても、つぎの ひ 日の 朝に なっても、また、その

つぎの ひ 日に なっても、シロが いません。

いつ か め 5日目の 朝、みんなで こわれた いえ 家の かたづけを しました。

こわれた げんかんの くつばこの した しろ 下に、白い ものが

み 見えました。



「シロだ。」

とう お父さんも かあ お母さんも わたしも、ぐったり している

シロを、いっしょうけんめい たすけようと しましたが、はしらやかべが おもすぎます。

「シロー。」

きんじょの ひと 人や、とお 通りかかった きゅうじょたいの ひとたちも て 手つだってくれました。

シロは、たすかりました。

わたしは、けがを している シロを ぎゅっと だきました。

シロは、「クーン、クーン。」と なきながら からだを すりよせて きます。

わたしの なみだは、と 止まりませんでした。

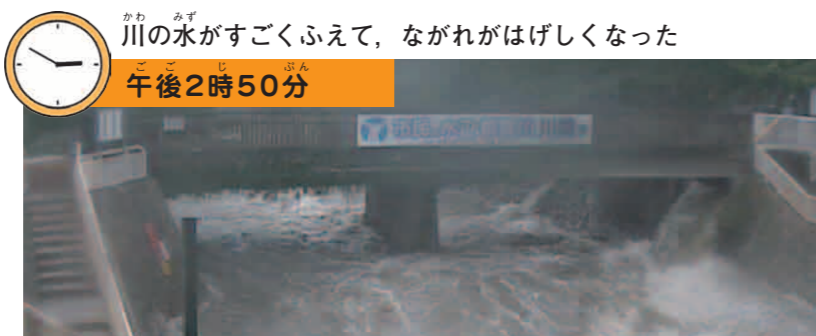
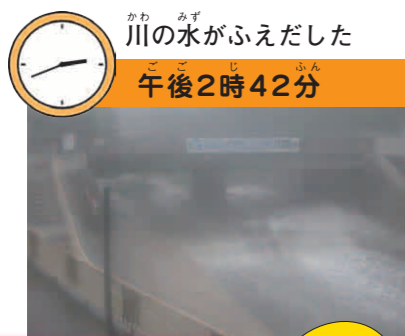
みていた ひと 人は、はく 手を していました。



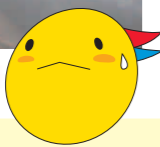
# あっというまにすごいながれ

## きゅうに水がふえる

2008（平成20）年7月28日、大雨がふり、神戸市をながれる「都賀川」の水かさが増え、一気にふえました。



ゆうほうどうが水にかくれてしまったね。



(写真提供 神戸市建設局)

## きけんぼうしのかんばんや回てんとう



川のきけんを知らせるかんばん



ひなんゆうどうかんばん



大雨を知らせる回てんとう

「しあわせはこぼう」(神戸市教育委員会)を参考に作成



マンホールから水があふれる

こうか下に水がたまる

水がたまっているところには近づかない

橋の下で雨やどりをしない

ぞう水した水はさける

自分のいるところに雨がふっていないなくても、川の水がきゅうにふえることがあるんだね。

黒い雲やかみなりの音が、大雨のサインよ。水べからは、はなれようね。





## おばあちゃん これ

地<sup>じ</sup>しんで、わたしの 家<sup>いえ</sup>は つぶれて しまったので、  
学校<sup>がっこう</sup>の 体<sup>たい</sup>いくかんで、すごす こと<sup>こと</sup>に なりました。

わたしの 家<sup>いえ</sup>の 近<sup>ちか</sup>くに すんでいる おばあちゃんも  
いっしょでした。

ときどき 地<sup>じ</sup>しんが 来<sup>き</sup>て 体<sup>たい</sup>いくかんが ゆれても、  
おばあちゃんは、

「だいじょうぶ、だいじょうぶ。体<sup>たい</sup>いくかんは

こわれないよ。」

「こんどのは 小<sup>ちい</sup>さいよ。」

と、びくびく している わたしに やさしく 声<sup>こえ</sup>を  
かけてくれます。

ある日<sup>ひ</sup>、わたしは、  
昼<sup>ひる</sup>の べんとうと  
下<sup>した</sup>ぎを もらいに  
行<sup>い</sup>きました。ふと  
おばあちゃんを  
見<sup>み</sup>ると、じっと



よこに なっています。

つぎの 日<sup>ひ</sup>も、おばあちゃんは、じっと よこに  
なっています。

「おばあちゃん、しんどいの？ おばあちゃん、  
だいじょうぶ？」

「だいじょうぶだよ。まえから 少<sup>すこ</sup>し 足<sup>あし</sup>が いたくて、  
うごくのが つらいだけだよ。」

わたしは、すぐに 外<sup>そと</sup>の テントに ならびました。

そして、

「おべんとう 一<sup>ひと</sup>つ。」

「おばあちゃんの下<sup>した</sup>ぎ。」

と、ボランティアの 人<sup>ひと</sup>に 大<sup>おお</sup>きな 声<sup>こえ</sup>で 言<sup>い</sup>いました。

大<sup>おお</sup>いそぎで、おばあちゃんの ところ<sup>ところ</sup>に もどって、

「おばあちゃん、これ。」

おばあちゃんは、わたしの 方<sup>ほう</sup>を むいて 手<sup>て</sup>を あわせて、

「ありがとう。」

と、小<sup>ちい</sup>さな 声<sup>こえ</sup>で 言<sup>い</sup>いました。

何<sup>なん</sup>ども 何<sup>なん</sup>ども、

「ありがとう。」

って、わたしに 言<sup>い</sup>いました。





# おおじ 大地しんがきた

1995 (平成7) 年1月17日午前5時46分、  
 淡路島をしんげんに、大地しんが起きました。当時、  
 だれもけいけんしたことのないような大きなゆれが起き、  
 日本ではじめてしん度7がてきようされました。

## 地しんのゆれと広がり方

地しんが起ると地面がたてや横  
 に大きくゆれます。ゆれ方の強さを  
 「しん度」といい、0から7までの  
 数字で表します。

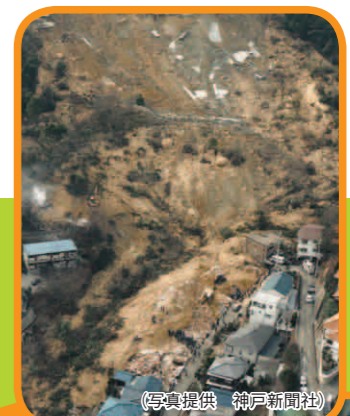
地しんのゆれは、しんげん地から  
 まわりに広がっていきます。



(2006年5月19日阪神・淡路大震災について【確定報】消防庁)



↓ 地すべり (西宮市仁川百合野町)



神戸市の震度計は震度6を記録したが、気象庁が被害状況の現地調査を行い、一部の地域を震度7と認定した。(阪神・淡路大震災の概要 内閣府)

### しん度とゆれ



人がゆれを感じない。

屋内にいる人のほとんどがゆれを感じる。

おき物がたおれることがある。



たなの食きが落ちたり、こ定していない家具がたおれたりする。

こ定していない家具のほとんどがい動し、たおれるものが増える。立っていることがこんなんになる。



たいしんせいのひくいたて物は、かたむくものやたおれるものが増える。





## ありがとう

テントの外では、お姉さんたちが、だいこんや にんじんを  
山のように たくさん 切って、大きな なべに 入れていきました。

「何を 作って いるのかな。」

ぼくは 何が できるのか 知りたくなって きました。

お姉さんたちは、白い いきを はきながら、いっしょうけんめい  
手を うごかしています。大きな なべから、みそしるの いい  
においが してきました。

へやに もどって、お母さんに 話したら、

「お姉さんたちは、わたしたちの ために 来てくれた

ボランティアの 人たちよ。さむいのに みんなの ために

しょくじを 作ってくれて いるのよ。」

と 教えてくれました。

ぼくは、お姉さんたちの  
作ってくれた あったかい  
みそしるを、のこらず  
食べました。

しょっきを かえす とき、  
ぼくは、大きな 声で、  
「ごちそうさま。」  
と 言いました。



## ひとつになっ

二日目の 夜

ふたりに 一この

おにぎりが くばられた

韓国の 人も

ベトナムの 人も いっしょに

わけて 食べたよ

うすい もうふが

ひとりに 一まい くばられた

さむい 夜は

外で ねると しんまで ひえるから

せなかと せなかで

もたれあつて ねたよ

韓国の おじやを

もらったよ

ほかほかで

体じゅうが

ぬくもつたよ

心と 心が

ひとつに なつたよ











## げん き 元気で よかったね



### うれしいな

せんせい  
先生から でんわが きた。

せんせい  
先生が、

「がっこう い  
学校 行きたい？」

と 言ったから、

「うん い  
行きたい。」

って 言ったよ。

「こんどの げつ よう日 から がっこう  
学校 はじまるよ。」

と 言ったんだ。

がっこう  
学校が はじまる。

わたしは、うれしくて たまらなかつた。

それで、いもうと  
妹に そのことを はな  
話したよ。

## とも 友だちに あ 会えた

がっこう い ひ き  
学校に 行く 日が 来た。

わたしは、

「とも あ  
友だちに 会えるかな。」

「あのこ き  
子は 来てるかな。」

いろいろな ことを おも  
思いはじめた。

がっこう  
学校に つくと、

みんな あつまっていた。

とも あ  
友だちに 会えた。

せんせい あ  
先生にも 会えた。

わたしは うれしかった。





# 助け合って生活するために

ひょうご おおし あと ひとびと ひなんしょで知らないひと  
 兵庫をおそった大地しんの後、人々は、ひなん所で知らない人  
 としようどうせいかつ みず たものじゆうてはいせい  
 きょうどうせいかつ みず たものじゆうてはいせい  
 ときょうどうせいかつ みず たものじゆうてはいせい  
 活を送りました。そんなとき、人々は、やくそくや決まりを守  
 り、おたがいにゆずりあひこうどう  
 り、おたがいにゆずりあひこうどう  
 合って行動しました。その行動を全国や  
 せかいひと  
 世界の人たちがほめたたえました。



はんしん あわじだい  
 阪神・淡路大しんさいのときの  
 ルールは、その後も各地の  
 ひなんしょでも使われているんだよ。



(写真提供 産経新聞社)

## 阪神・淡路大しんさいのひなんしょでのルールれい



しつない ひ  
 室内で火を  
 つか  
 使ってはいけません。



だい  
 トイレは大べんのみバケツの  
 みずなが  
 水で流してください。



ほうそう よる じ  
 放送は夜10時で  
 しゅう  
 終了します。



でんき よる じ  
 電気は夜10時に  
 き  
 切ります。



こつ しゃ ない  
 ペットは、校しゃ内に  
 い  
 入れてはいけません。



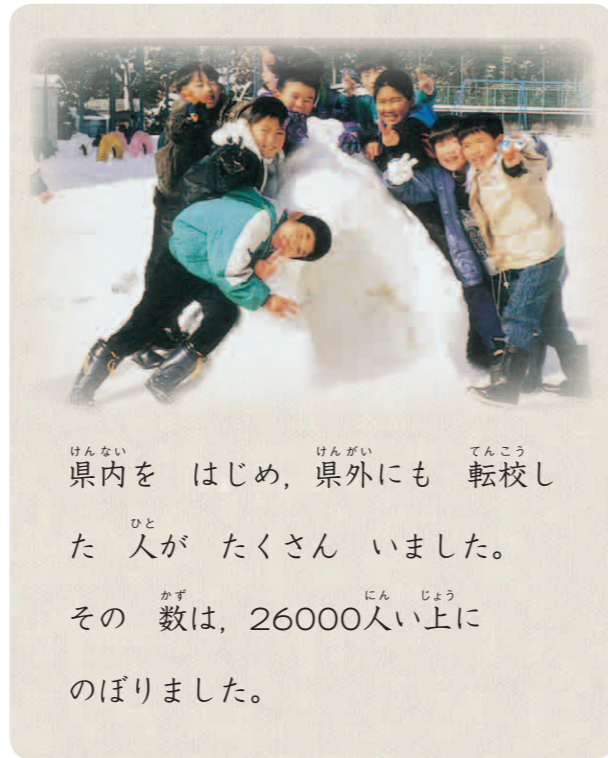
こう しゃ  
 高れい者、しょうがいのある人へ  
 きくば  
 気配りしてください。





# いつまでも わすれない

地しんで 転校した  
 母の いなかの 射添小学校へ  
 見た ことも ない 大雪だった  
 とても さむかった  
 でも 安心して ねむる ことが  
 できた



はじめて 学校へ 行った 日  
 体いくかんで あいさつを した  
 みんな あたたかく むかえて  
 くれた  
 全校生 141人  
 3年生は たったの 17人  
 みんな とても やさしかった  
 すぐに なかよく なれた

はじめての バス通学  
 まんいんの バスに ゆられて 20分  
 ちょっぴり えんそく気分

はじめての スキーえんそく  
 みんな すいすい 楽しそう

すべれないのは わたしだけ  
 先生が つきっきりで 教えてくれた  
 少し すべれるように なった  
 「やったあ」と 思った  
 神戸に 帰る 日が 来た  
 射添小学校を はなれなくなかった  
 地しんを わすれるほど 楽しかったから

3年生から もらった 『思い出の つづり』  
 校長先生からの 手紙  
 たんにんの 先生からの 手紙  
 ほかの 学年の 人からの 手紙  
 みんな 大事に しまっている  
 今でも ときどき 思い出す  
 楽しく かよった 射添小学校  
 なかよく あそんだ みんなの 顔  
 雪に うまりそうだった 村岡の 町  
 わたしは いつまでも わすれない





# みんなを見守るプラポン

豊岡市立新田小学校の運動場にじゅれい  
50年近くの大きなポプラの木がありました。  
ポプラは、学校の風けいになくってはならない  
ものとして子どもたちはもちろん、そつ業生  
や地いきの多くの人に親しまれていました。

2004（平成16）年9月。台風18号が町  
をおそい、その強い風でポプラの木はたおれ  
てしまいました。学校の子どもたちや地いき  
の人たちは力を合わせて元にもどそうとしま  
しましたが、どうすることもできませんでした。  
みんなにおしまれながら、ポプラは細かく切  
り分けられてしょ分されました。でも、何と  
かほぞんできないものかと、大きな切りかぶ  
だけは、近くのぞう園業者さんに引き取られ  
ていきました。

その一か月後、今度は台風23号の大雨で  
川がはんらんし、町は水びたしになってしま  
いました。ポプラの切りかぶも、大水に流さ  
れてしまいました。

町の水がひくと、みんなはびっくりしまし  
た。流されたポプラの切りかぶが、2kmい上  
はなれたたんぼのまん中に、まるではじめか



(写真提供 高橋 信さん)

らそこで育っていたかのように、どう  
どうと力強く立っていたのです。新田  
小学校の子どもたちや台風のひがいで  
苦しんでいた町の人たちは、たんぼに  
立つ大きな切りかぶを何度も何度も見  
におとずれました。

春になりました。おどろいたこと  
に、ポプラの切りかぶから新めがいつ  
ぱいふき出てきました。ポプラの木は、たおれても、切られても、そして水に流  
されても一生けん命に生きようとしていました。  
新田小学校の子どもたちは、その新めをさし木して育てることにしました。そ  
して、「プラポン」と名前をつけて、校庭に植えました。プラポンは、みんなのあ  
いじょうをいっぱいを受けてすくすく育ち、見上げるほどに大きくなりました。  
今、新田小学校ではプラポンが、校庭で遊ぶ子どもたちを見守るように立っ  
ています。



↑すくすく育つプラポン（豊岡市立新田小学校）

わたしたちも、プラポンのように  
強くなりたいね。



## 帰ってきたプラポン

2007（平成19）年3月、ポプラの切りかぶは新田小  
学校にもどってきました。

ポプラの木としては生きて  
いくことができませんでしたが、モニュメントとしてその  
すがたをのこし、校庭のプラ  
ポンといっしょに子どもたち  
を見守っています。



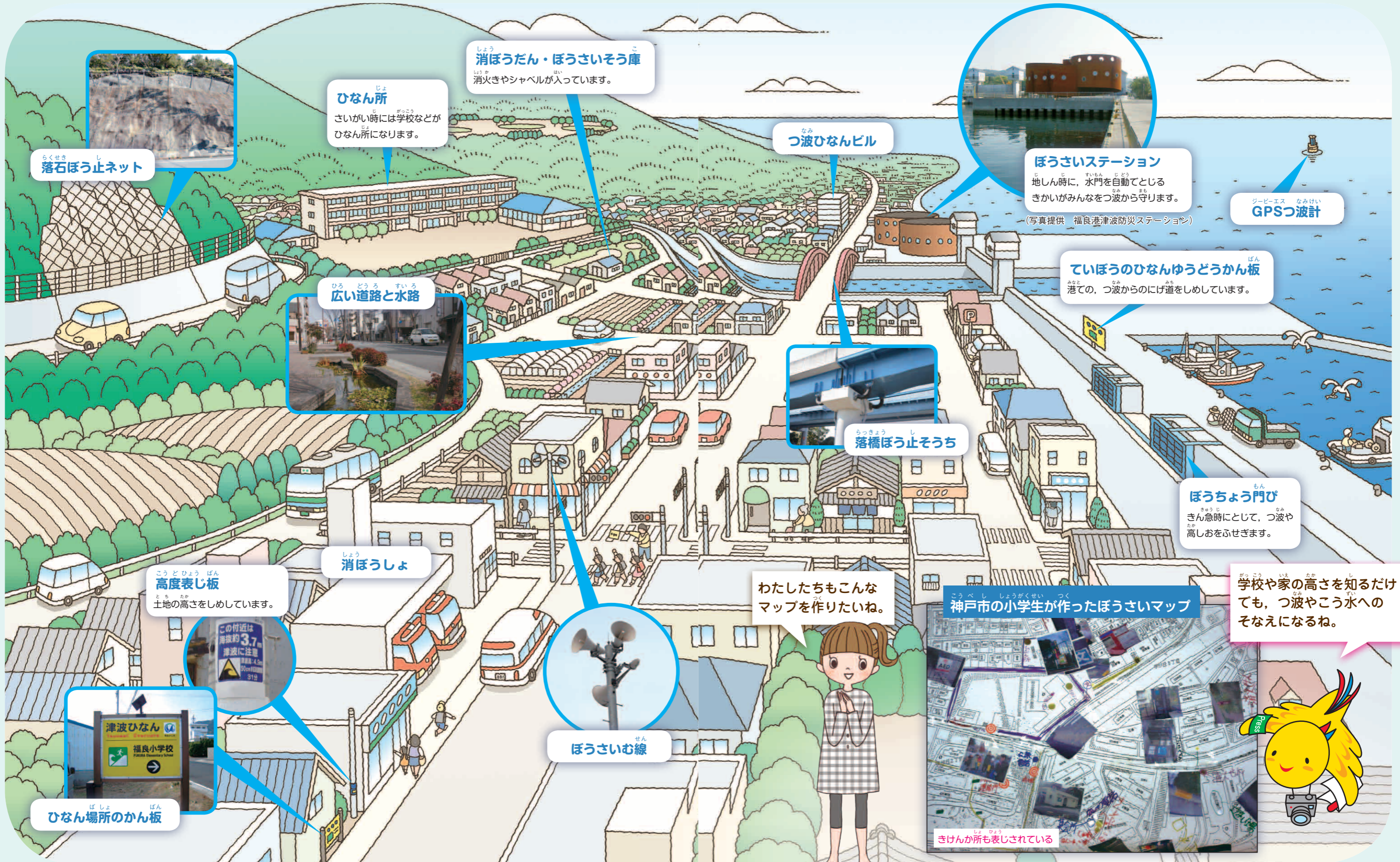






# 町のぼうさいしせつをさがそう

町には、地震、火事、つ波、大雨、高しおなどから、命とくらしを守るしせつがあります。あなたの町でもさがしてみましょう。



らくせき 落石ぼう止ネット

ひなん所  
さいがい時には学校などが  
ひなん所になります。

しょう 消ぼうだん・ぼうさいそう庫  
しょうか 消火きやシャベルが入っています。

なみ つ波ひなんビル



ぼうさいステーション  
じしん時に、水門を自動でとじる  
きかいがみんなをつ波から守ります。

ジーピーエス GPSつ波計

(写真提供 福良津津波防災ステーション)



ひろ 広い道路と水路



らっきょう 落橋ぼう止そうち

ていぼうのひなんゆうどうかん板  
みなと 港での、つ波からのにげ道をしめています。

ぼうしょう門び  
きん急時にとじて、つ波や  
高しおをふせぎます。

こうどひょうばん 高度表じ板  
どちたか 土地の高さをしめています。

しょう 消ぼうしょ

わたしたちもこんな  
マップを作りたいね。

こうべし 神戸市の小学生が作ったぼうさいマップ

がっこうや家の高さをしるだけ  
でも、つ波やこう水への  
そなえになるね。



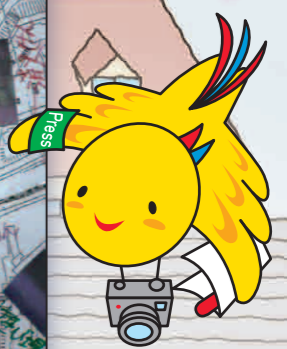
ばん 避難場所のかん板



ぼうさいむ線



きけんが所も表じされている







あすに  
いきる

## お風呂に はいったよ

三週間ぶりに

お風呂に 入ったよ

地しんで 水道や ガスが 出ないから

となりの 市の 大きな

お風呂やさんに 行った

お父さんに

ごしごし あらって もらった

まるで ぼくは

じゃがいもみたいだった

どろだらけだったのが

つるつるに なった  
とても 気持ちよくて  
うれしかったよ



(写真提供 神戸新聞社)

↑ ひさしぶりの お風呂に ならぶ 多くの 人たち



あすに  
いきる

## 水くみ したよ

地しんで 水道かんが やぶれて、だいどころや お風呂、  
トイレの 水が 出ないよ。

地しんが あってから、2か月 たつけど、まだ、家の  
水道が つかえないよ。それで 家の 近くに みんなで 使う  
水道が つけられたんだ。

でも、ぼくの 家は マンションの 8かい。水を くみに、  
かいだんを 下まで おりなければ ならないんだよ。

お母さんは、大きな バケツを  
もって、何ども 水くみに  
行ってるよ。いっしょうけんめい  
がんばっている お母さん。

ぼくも、ペットボトルを  
もって 水くみに 行ったよ。







# 穴栗市一宮町につたわる抜山伝説

1976(昭和51)年9月13日、  
台風17号のえいきょうで、穴栗市一宮町はそう雨  
りょうが637mmにもなっていました。  
そのため一宮町福知地区、生栖地区に  
またがる「抜山」の一部が  
山くずれを起こし、  
一家6人が生きうめに  
なりました。



すぐに消ぼうだんや住みんが  
かけつけて、きゅう出作業を  
行い、3人をきゅう出しまし  
た。この3人のそうさくを  
ひっ死て行っていました。

ここらはな、  
昔に大きな山くずれが  
あってな、それから  
「抜山」とよばれる  
ようになったんよ。



もっと大きな  
山くずれが  
起こるかも…

きゅう出作業を見守っていた地いきの  
人たちは、昔からこの地区につたわる  
「抜山伝説」のことが、とても気にな  
っていました。

だいじょうぶ  
かな…



そのとき、山ちよう  
近くの木が数本  
たおれました。



あつ!!

山が  
抜けるぞ!  
はよにげ~!

あぶない!  
にげる!!



学校のスピーカーからの  
よびかけや、住みんの声  
かけて、みんなはいっせいに  
ひなんしました。

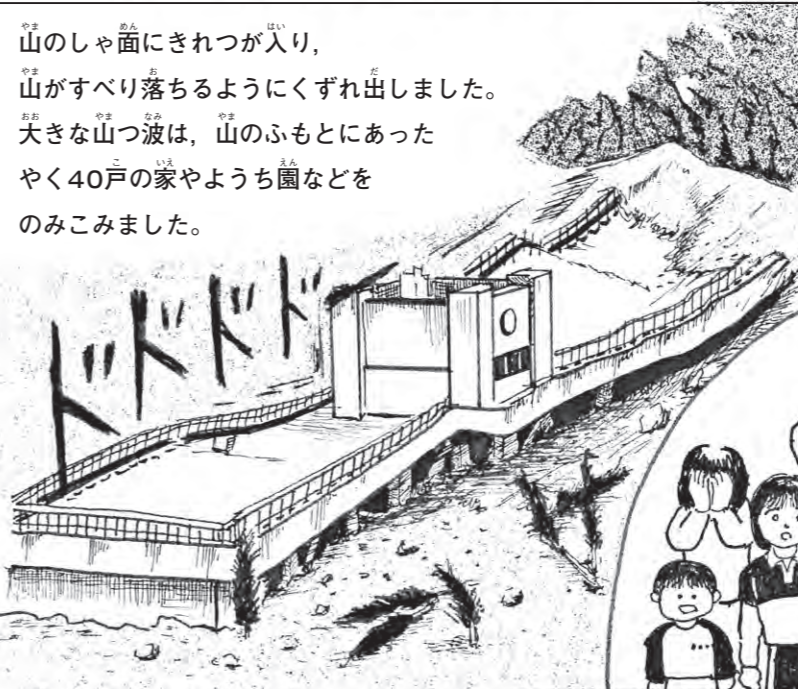


はよにげ!  
いそげ!  
やっぱり  
抜けた!

きけんです  
早くにげて下さい!



山のしゃ面にきれつが入り、  
山がすべり落ちるようにくずれ出しました。  
大きな山つ波は、山のふもとにあった  
やく40戸の家やようち園などを  
のみこみました。



3階だての下三方小学校は  
やく60mほどおし流され、  
校しゃのほとんどが土にうも  
れてしまいました。

あ、あ……



(写真提供 穴栗市)



(写真提供 神戸新聞社)

## 住民ら400人 奇跡の脱出

穴栗郡一宮町の山津波

抜山が抜けるぞ!!  
老幼助け全員スクラ



住みんが抜山伝説を知っていたことが  
命を守りました。  
下三方小学校では今でも山つ波集會を  
開き、伝説を語りついでいます。

↑ 1976年9月14日 神戸新聞





# ガスの 工事に 来た お兄ちゃん

かぞくで 大阪の おふろやさんに 行きました。  
 ろてんぶろに 入って いたとき、よこに いた お兄さんに、  
 「ぼく、どこから 来たん。」  
 と 聞かれて、  
 「西宮から 来ました。」  
 と 答えたら、  
 「お兄ちゃんなあ、東京から ガスの 工事に 来てるけど、  
 家 だいじょうぶか。」  
 と 聞かれたので、  
 「うん、だいじょうぶだよ。」  
 と 答えました。すると、お兄さんが、  
 「ガス 出てる？ 水 出てる？」  
 と 聞いてくれたので、  
 「ガスが 出でない。」  
 と 答えると、  
 「お兄ちゃんも がんばるか  
 ら、ぼくも がんばりや。」  
 と はげまして くれました。  
 ぼくは、このとき、  
 「やさしい お兄ちゃんやな  
 あ。」  
 と 思いました。



# 水が 出た



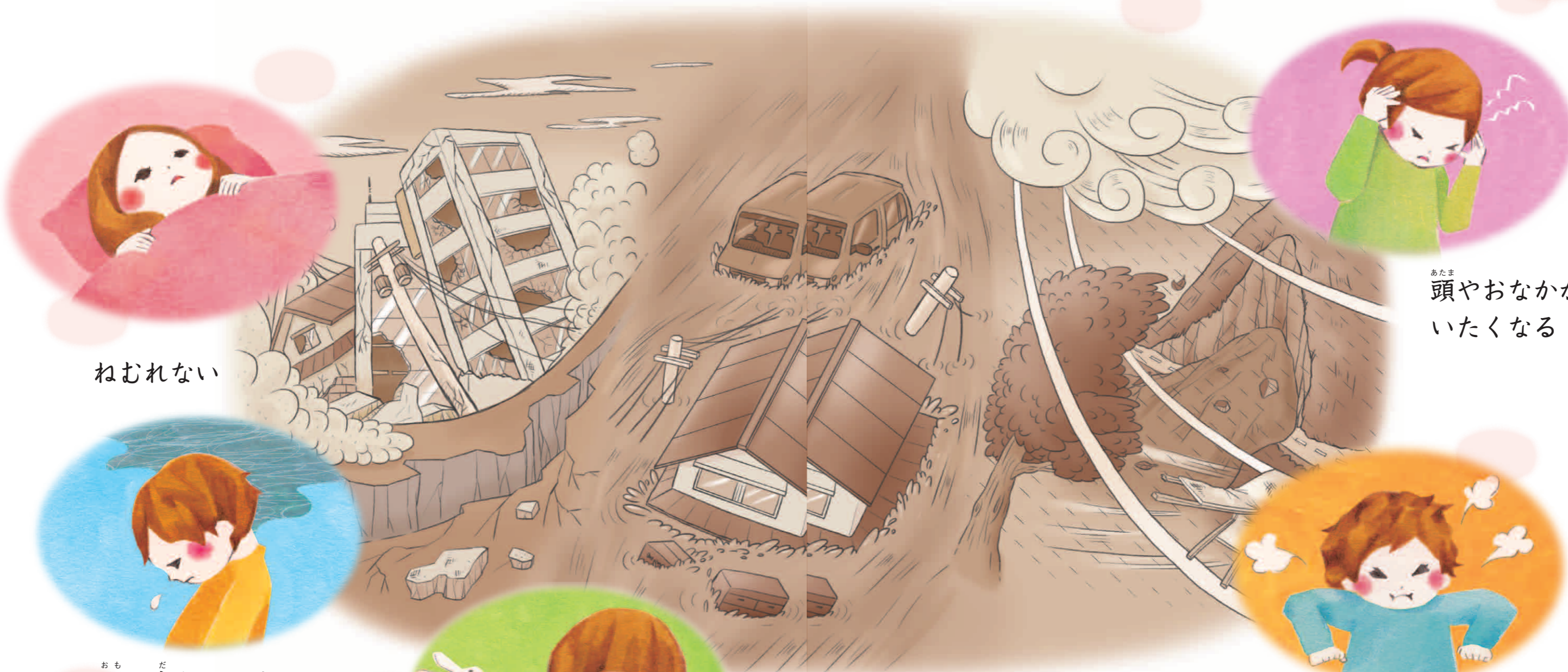
↑ 水が 出るようになるまで、きゅう水車に 列を つくって ならびました。

3月14日  
 水道の じゃ口から  
 ぽちゃっと 音が した  
 もうすぐ  
 もうすぐやで  
 また  
 ぽちゃんと 音が した  
 また また  
 ぽちゃん ぽちゃんと  
 音が した

つぎに  
 トイレの 水が  
 ドボドボと 音を たてて  
 出てきた  
 出た 出た  
 おかあさんと  
 「よかったね」  
 と 言った



かな きも 悲しい気持ち, こわい気持ち



ねむれない

おもいだ 思い出してつらい

かな なに 悲しくて何も したくない

あたま 頭やおなか が いたくなる

いらいらする

これはだれにでも起こる, 自ぜんなことなんだよ。





# こうするとリラックスできるよ



1 手をぎゅっくにぎって!



2 ふわっと力をぬく!



3 手をぎゅっくにぎってかたをぐっと上げて!



4 ふわっと力をぬく!



5 手をぎゅっくにぎって、かたもぐっと上げて、顔を鼻の中心にぐっとよせて



6 ふわっと力をぬく!

おお 大きく息をすって、はくだけでも、気持ちと体が楽になるね。



# だれかに話をしてみよう



ともだちに話をしてみよう



おうちの人に話をしてみよう



先生に話をしてみよう



話をすると、気持ちが軽くなるね。



# 1.17はわすれない

## 阪神・淡路大しんさいからの町のふっこう

阪神・淡路大しんさいは、6434人のとうとい命をうばい、わたしたちのふるさと兵庫に深いきずあとをのこしました。

あの日い来、ひさい地では、国内外から多くの温かいしえんやはげましを受けながら、ふっこうをはたしてきました。

ここでは、しんさい時のひがいの様子とふっこうした町の様子をしょうかいします。



(写真提供 神戸新聞社)



(写真提供 神戸新聞社)

← やけ野原になった神戸市長田区の水笠通しゅう辺（1月30日）  
 → 手前は長田工業高校。左手の公園にはふっこう住たくがたった。



(写真提供 神戸新聞社)

→ 高かがくずれ、阪神電車はだっ線（神戸市灘区 1月18日）  
 → さいけんされた高か下



(写真提供 神戸新聞社)



(写真提供 神戸新聞社)

↑ 神戸市東灘区で横だおしになった阪神高速道路神戸線（1月17日）  
 → 同線は1年8か月後の1996年9月に全線開通した。



(写真提供 神戸新聞社)



(写真提供 神戸新聞社)

↓ 大きなひがいを受け、かい体が進む阪急会館と神戸交通センタービル  
 ← 中央は、さいけんされた神戸交通センタービル（2004年当時）（神戸市中央区）



(写真提供 神戸新聞社)



学校で行われているぼうさいくん練

丹波市立船城小学校

→ 地しんを想定してひなんくん練を行いました。  
(2011年1月28日)



(写真提供 南あわじ市)

南あわじ市立福良小学校

↑ 南海地しんのつ波を想定して地いきの保育所と合同でひなんくん練を行いました。  
(2011年9月15日)



宝塚市立中山桜台小学校

↑ 地いきの人といっしょにたき出しを行いました。(2012年1月20日)

兵庫県で行われている追とう行事

西宮市立高木小学校



(写真提供 神戸新聞社)

← 毎年、そつ業生らのきふでせつちされた「ふっこうのかね」を鳴らして、なくなったじ童のめい福を全校生でいのります。しんさいをわすれず、命のとうとさをつたえつづけています。

東遊園地(神戸市中央区)での追とう行事



(写真提供 神戸新聞社)

↑ 多くのひがいをもたらした阪神・淡路大しんさい。ぎせい者のめい福をいのり、またふっこうへと思いをあら新たにすための追とう行事が行われています。

兵庫からの発しん

しんさい・学校しえんチーム (EARTH)

阪神・淡路大しんさいのときには、多くの先生方が学校にひなんしてきた人たちの生活をささえました。ひがいを受けた子どもたちをささえたのも先生でした。そのけいけんは、阪神・淡路大しんさいの後に起こったさいがいのときに役立っています。



↑ 子どもたちへのぼうさい学習  
(2011年1月22日 稲美町立加古小学校)



↑ 宮城県南三陸町での学習しえん (2011年8月7日~9日 宮城県南三陸町立志津川中学校)



↑ トルコ共和国でのぼうさい学習 (2012年2月6日~9日 トルコ共和国内の学校)

人と防災未来センター

阪神・淡路大しんさいのけいけんを語りつぎ、「減災社会の実げん」「命の大切さ」「ともに生きることのすばらしさ」を世界へ発しんしていきます。



北淡震災記念公園

地しんであらわれた野島断層を、ありのままにほぞん・てんじし、いろいろな角度からだんそうをわかりやすくかいせつしています。



(写真提供 北淡震災記念公園)





はる  
春が きた



(写真提供 神戸新聞社)

いちがつ  
一月の 地しんで

あんなに 町が

むちやくちやに なったのに

さんがつ  
三月の 中ごろ

うぐいすが やってきて

「ホケキヨ」と ないた

うぐいすは ちゃんと 春を おぼえてて

ぼくに 「春ですよ」と 教えてくれた

そのあと

つくしが 出て

なの花も さいた

地しんも しぜんが したことだけど

春も また

しぜんが くれた プレゼント

ぼくが 春を こんなに かんじたのは

今年が はじめてだ

春が きて

ほんとうに よかった